

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 伏見区桃山町マンション	階数	地上5F
建設地	京都府京都市伏見区桃山町鍋島1番	構造	RC造
用途地域	準防火地域、埋蔵文化財包蔵地、旧	平均居住人員	204 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年7月	評価の実施日	2013年9月17日
敷地面積	1,753 m <sup>2</sup>	作成者	東洋設計事務所 吉田 茂博
建築面積	1,130 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,318 m <sup>2</sup>	確認者	〇〇〇



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 72%  
③上記+②以外の 71%  
④上記+ 71%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.2

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.0

**Q3 室外環境 (敷地内)** Q3のスコア = 3.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.1

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.1

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	太陽光発電の採用や植栽をバランスよく配置する等、地域環境および周辺環境への配慮を行った	
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
内装の仕上げにF☆☆☆☆を使用し、化学物質の発生に配慮した。共用部 (エントランスホール・集会室)、専有部ともに光を多く取り入れた。	主要内装仕上げ材や空調給排水配管の更新必要間隔、躯体の材料の耐用年数を長くなるよう配慮した	植栽を配置するなど良好な景観を形成するよう努めた
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光発電を採用し、設備システムの高効率化に努めた	ノンフロン断熱材を使用するなど汚染物質含有材料の使用を回避するよう配慮した	自転車置き場や駐車スペースを適正に確保し、地域インフラへの負荷抑制に努めた

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される